



第3章 ニーズ調査（住民アンケート）結果について

1. ニーズ調査の概要

（1）調査目的

平成27年4月に施行された子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援の制度のもとで、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間の一期とする「中央市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画的に給付・事業を行ってきました。この計画期間が平成31年度（令和元年度）で満了となることから、新たに「第2期中央市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。策定にあたっては、教育・保育事業、地域子育て支援事業の「量の見込み」を算出する必要があります。小学生以下の子どもをもつ家庭を対象に「現在の利用状況」や「今後の利用希望」等に関するアンケート調査を実施しました。

（2）調査期間

平成31年1月9日から平成31年1月28日まで

（3）調査対象及び回収率

調査対象	配布数	回収数	回収率
未就学児	1,235	830	67.2%
小学生	852	582	68.3%
総数	2,087	1,412	67.7%

（4）調査の内容

ニーズ調査の内容については、巻末の資料編に掲載。

（5）本報告書中の記号について

単一回答・・・1項目のみ選択して回答する。

複数回答・・・あてはまる項目を複数回答する（一部回答数を限定しているものもある）。

自由回答・・・回答者の考えを自由に記入する。

n・・・・・・・回答者数（number）を表す。「n=100」は、回答者数が100人ということ。

※複数回答の場合は、合計値が100%にならない場合がある。

※単一回答の場合は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合がある。

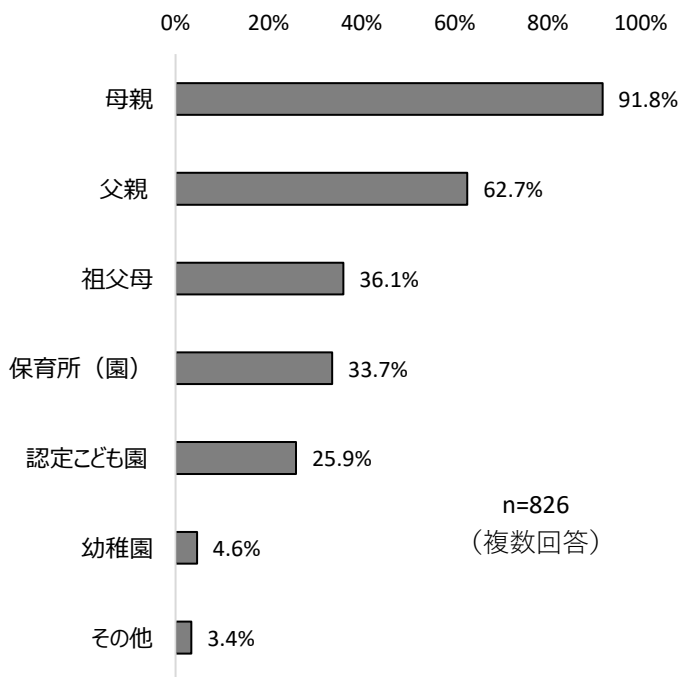


2. ニーズ調査結果

（1）日常的な養育者について

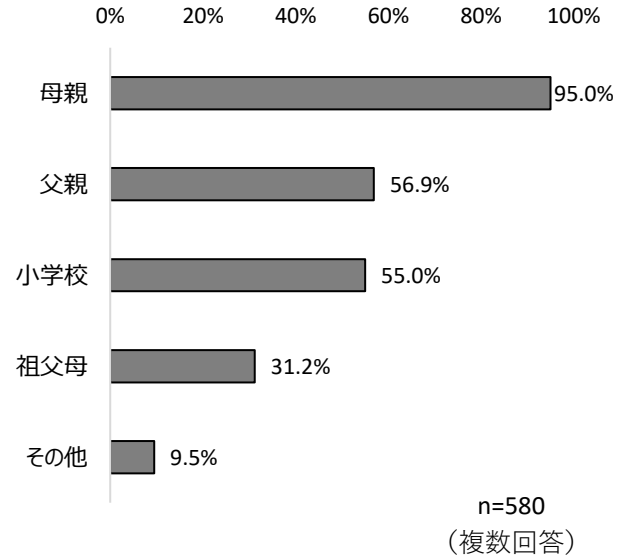
【未就学児の保護者の方の回答結果】

日常的に関わっている方_未就学児



【小学生の保護者の方の回答結果】

日常的に関わっている方_小学生



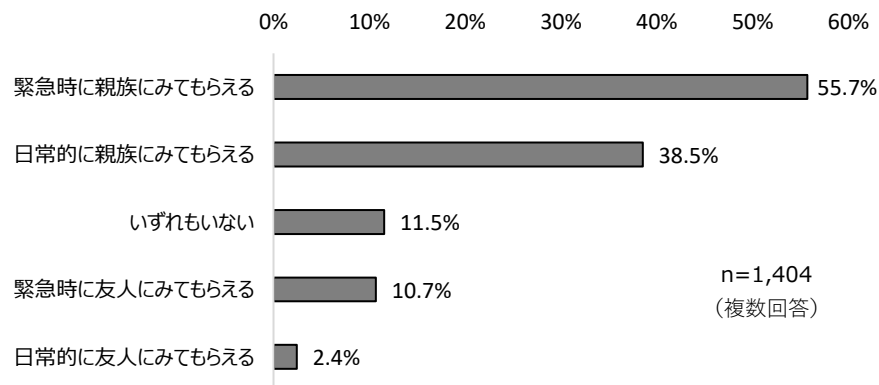
未就学児、小学生ともに「母親」が9割以上で最も多くなっています。未就学児では以下「父親」、「祖父母」、「保育所（園）」と続いています。小学生では以下「父親」、「小学校」、「祖父母」と続いています。





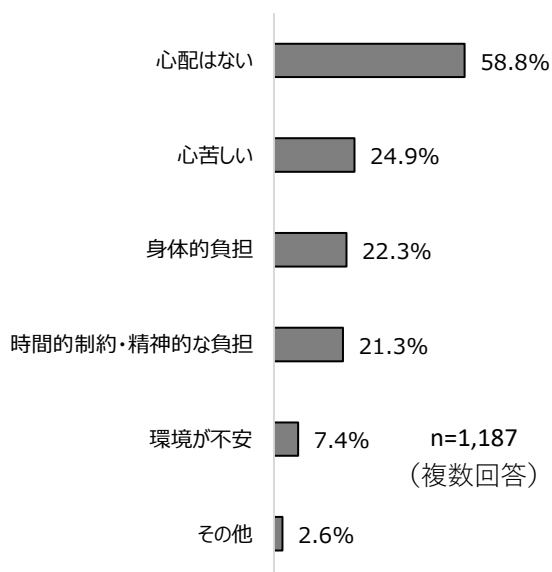
（２）日常的もしくは緊急時にみてもらえる人がいるか、また預かる人の負担について

子どもをみてもらえる親族・友人



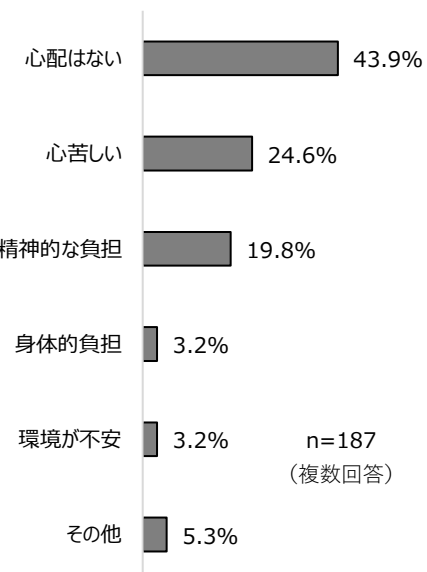
親族の負担

0% 20% 40% 60% 80%



友人の負担

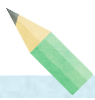
0% 20% 40% 60%



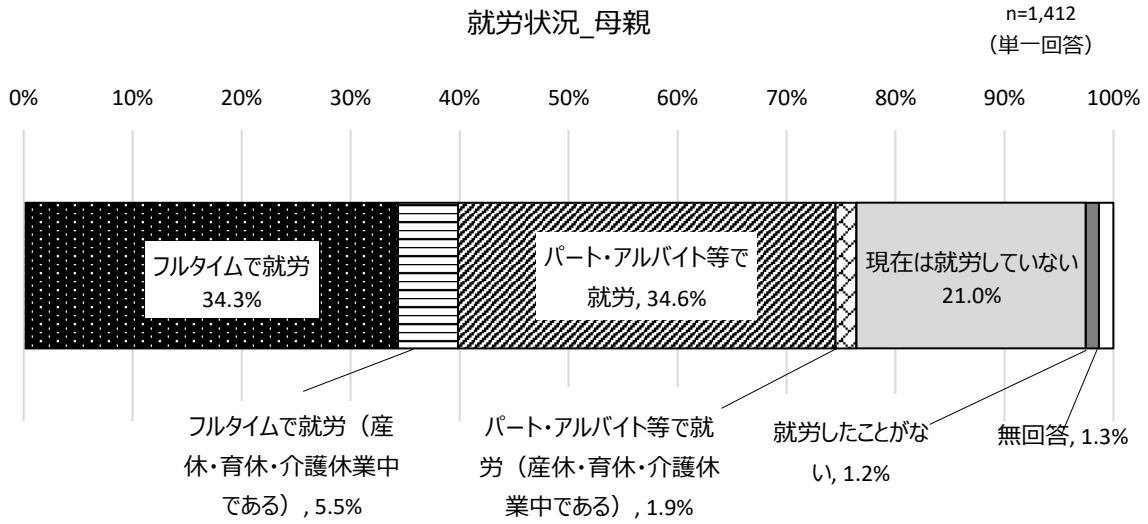
子どもをみてもらえる状況については、「緊急時に親族にみてもらえる」という回答が最も多く 55.7%でした。友人にみてもらえるというケースは、緊急時においても高くありません。また、いずれもないという回答が 11.5%ありました。

親族の負担については、「心配はない」という回答が最も多く 58.8%でした。以下「心苦しい」が 24.9%、「身体的負担」が 22.3%、「時間的制約・精神的な負担」が 21.3%と続いています。

友人の負担については、「心配はない」という回答が最も多く 43.9%でした。以下、「心苦しい」が 24.6%、「時間的制約・精神的な負担」が 19.8%と続いています。

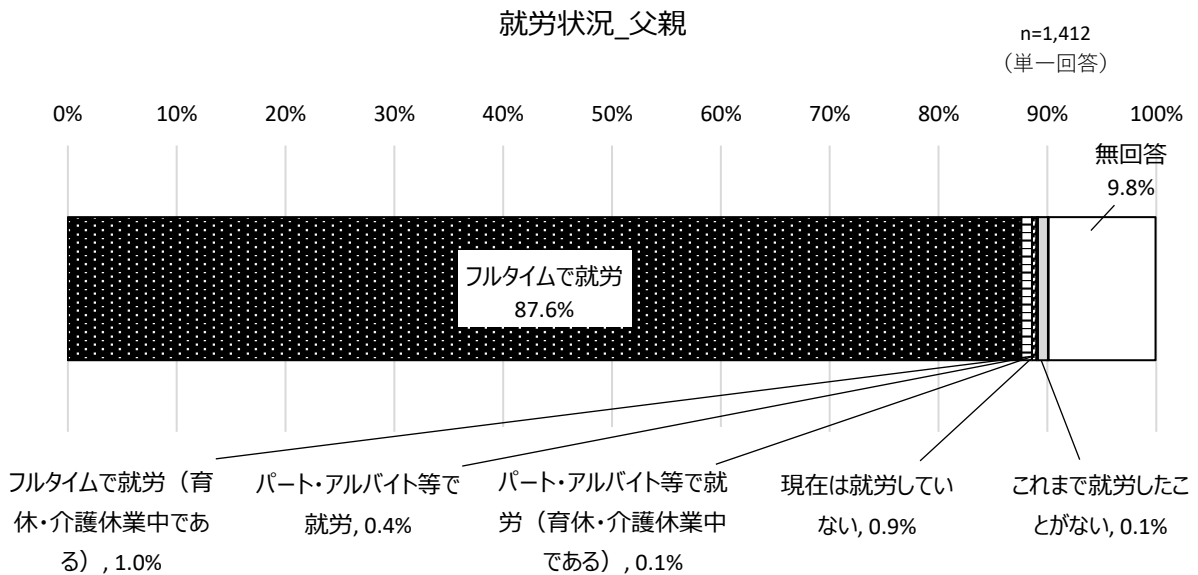


（3）両親の就労状況について



母親の就労状況については、「フルタイム」、「パート・アルバイト等」及び「産休・育休・介護休業中」を合わせ 76.3%となっています。

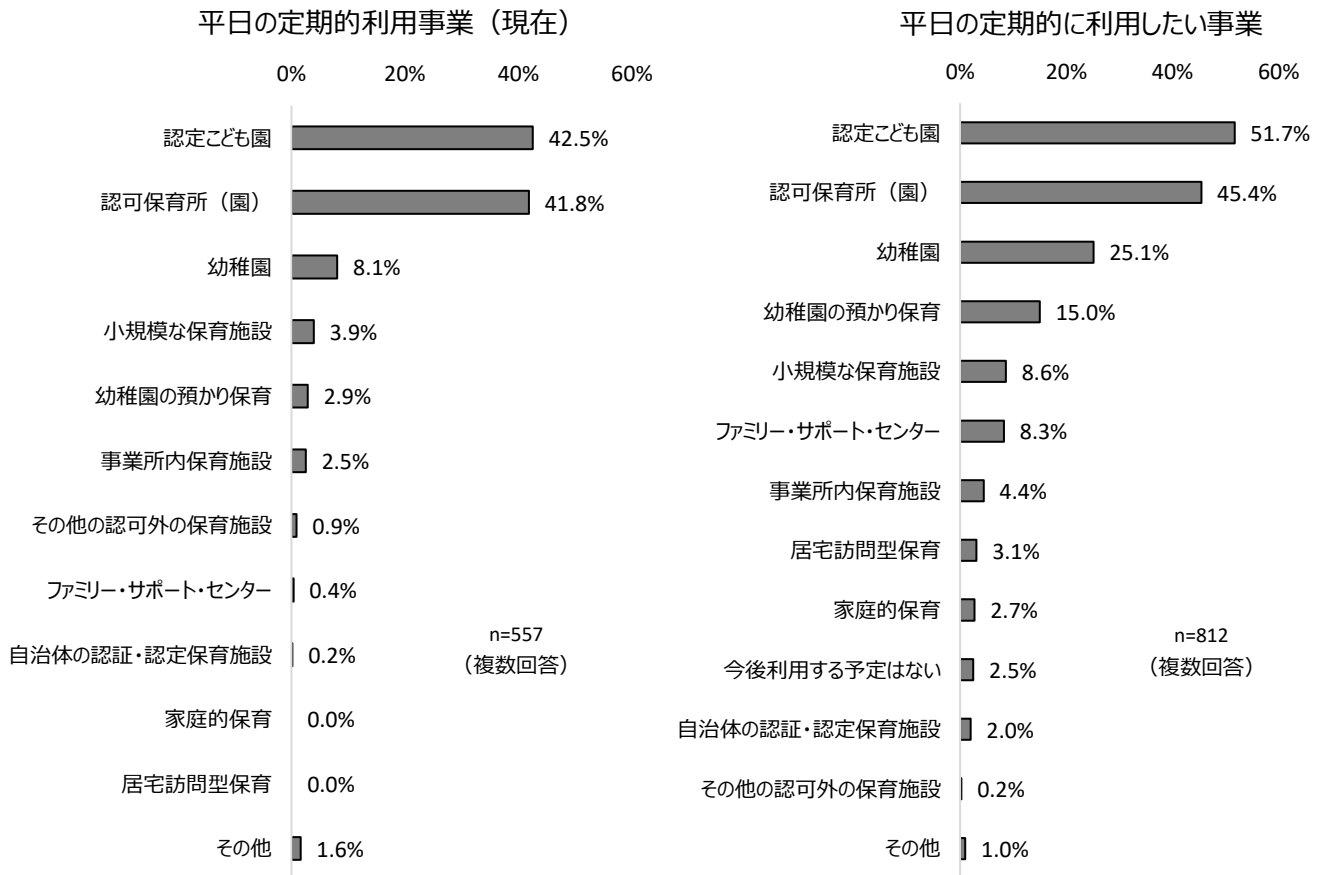
就労していない人は約 2 割でした。



父親の就労状況については、「フルタイムで就労（育休・介護休業中ではない）」が 87.6%で最も多く、そのほかについてはいずれも 1.0%以下でした。



（４）未就学児の教育・保育の利用状況について



現在利用している事業、利用したい事業ともに「認定こども園」及び「認可保育所（園）」が多くなっています。

利用希望では「幼稚園」及び「幼稚園の預かり保育」が他の事業と比べ高くなっています。

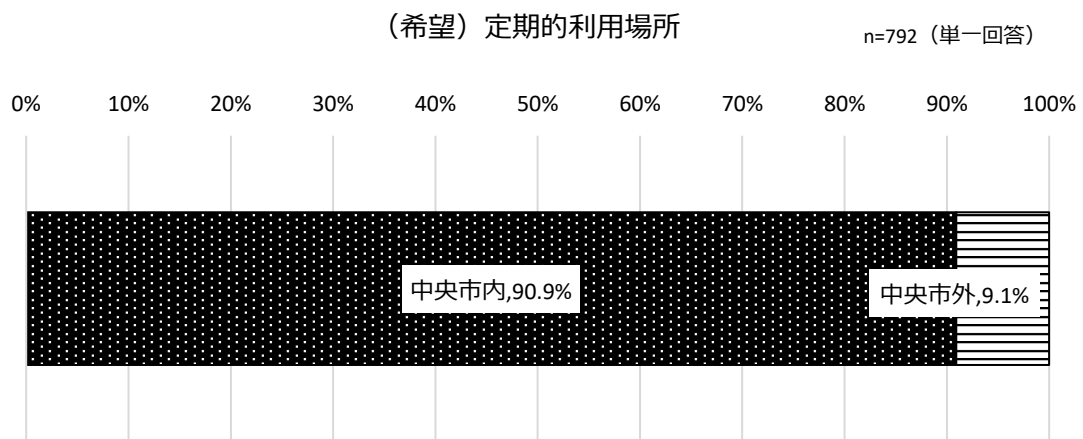
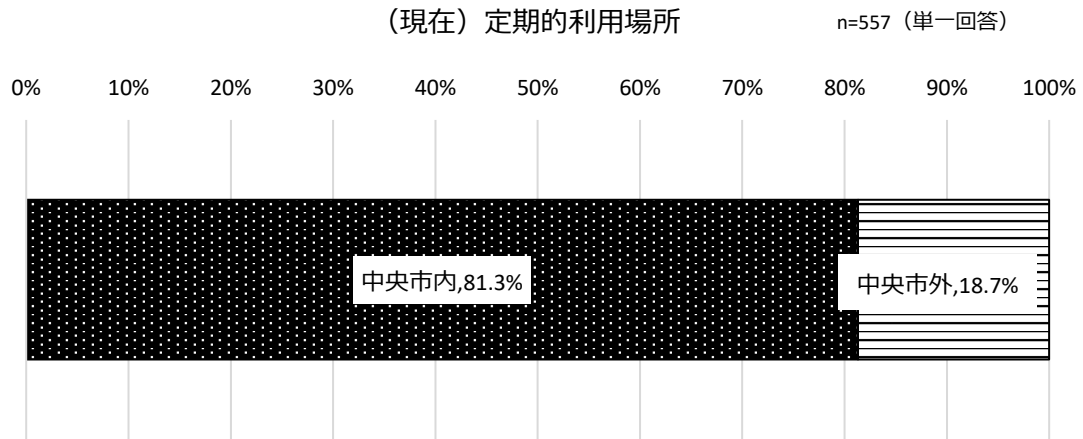
なお、前回の調査時から現在までの間、市内・市外にある幼稚園又は保育園の多くが認定こども園になったことにより、認定こども園の利用及び利用希望が増加しています。

参考：5年前の調査結果

	認可保育所	幼稚園	認定こども園
現在利用している事業	61.9%	25.7%	8.1%
利用を希望する事業	56.3%	40.4%	22.9%

参考：今回の調査結果

	認可保育所	幼稚園	認定こども園
現在利用している事業	41.8%	8.1%	42.5%
利用を希望する事業	45.4%	25.1%	51.7%

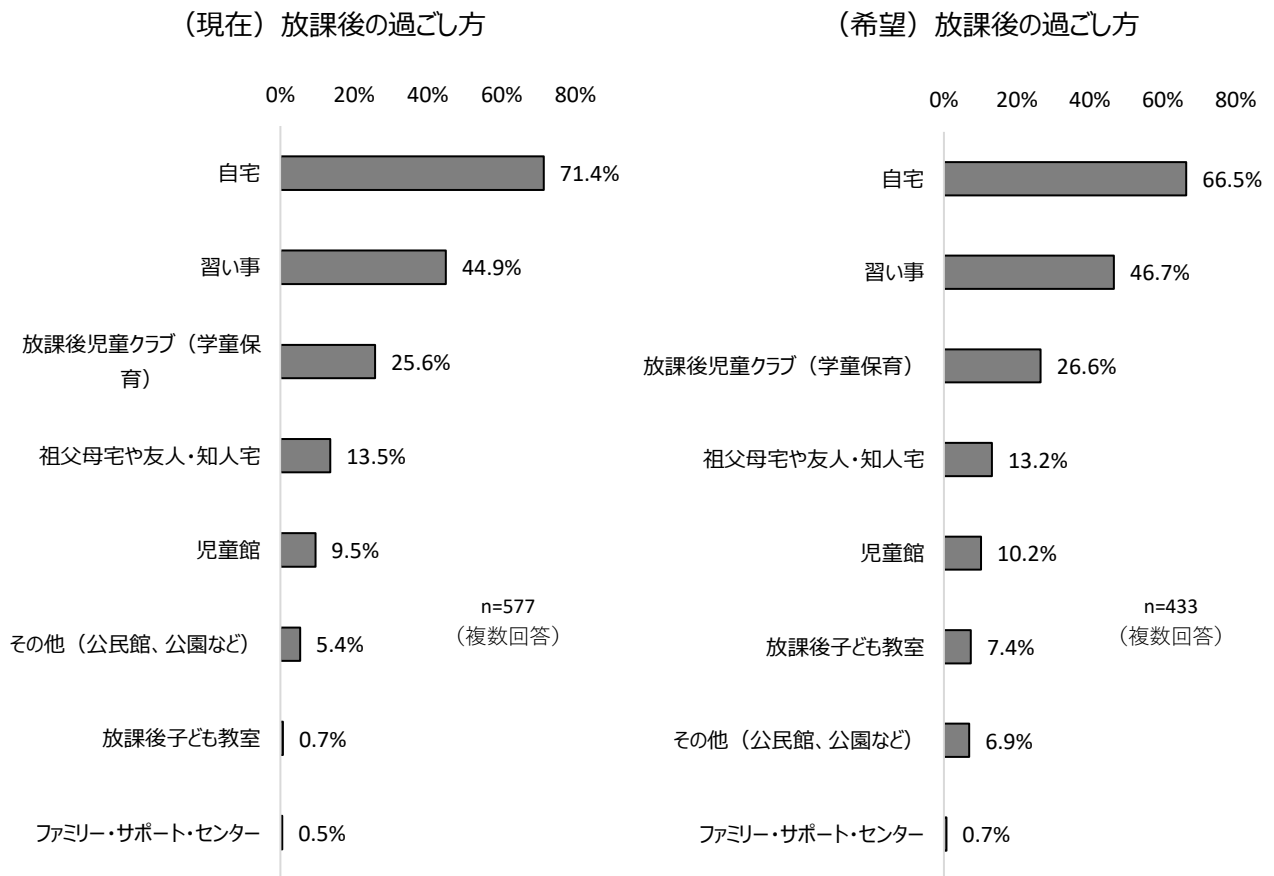


定期的な利用場所については、「中央市内」が 81.3%、「中央市外」が 18.7%となっています。

希望する利用場所については、「中央市内」が 90.9%、「中央市外」が 9.1%となっています。現在市外で利用している方で、市内での利用を希望している方がいることが分かります。



（５）小学生の放課後の過ごし方の希望について

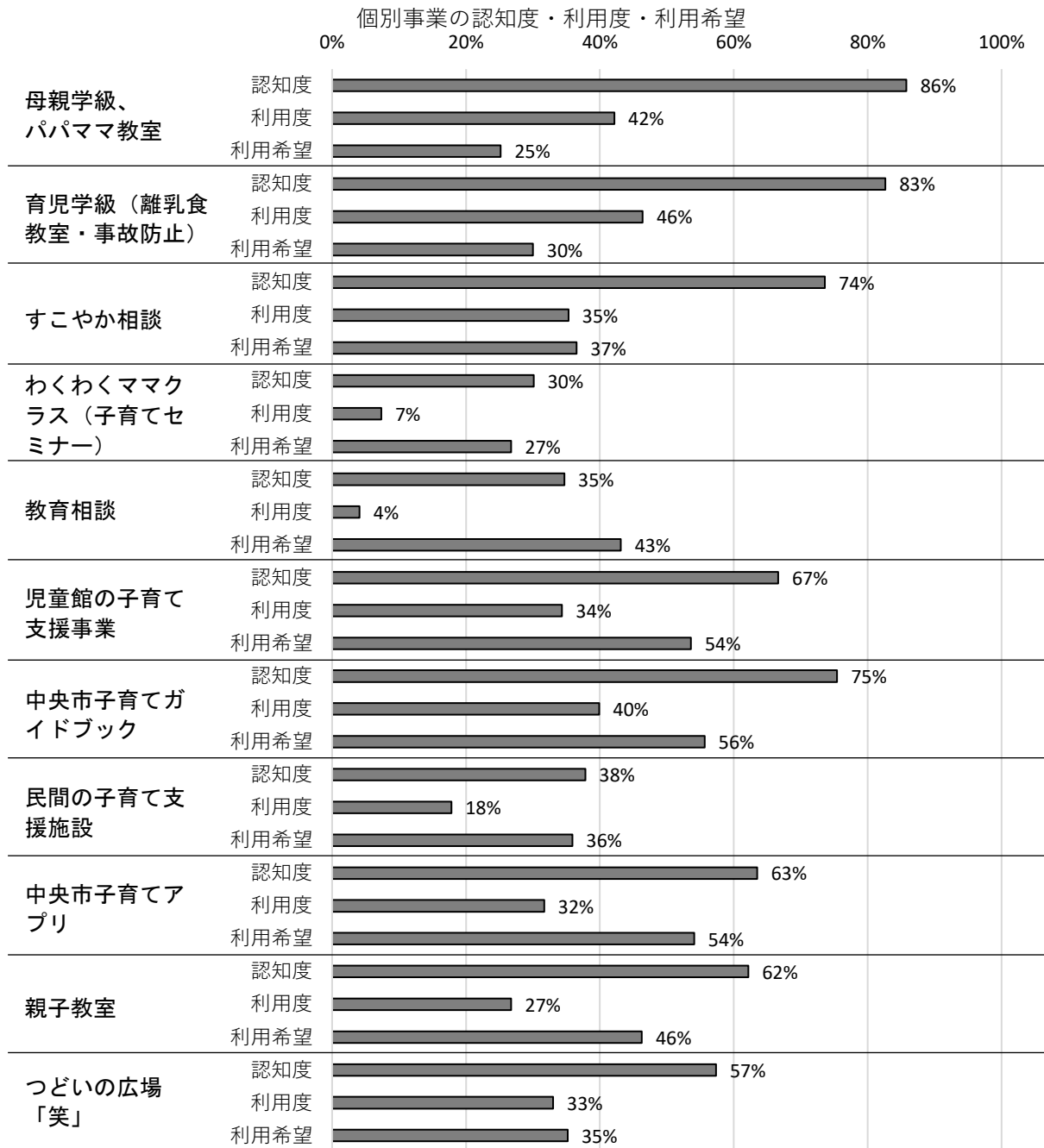


放課後の過ごし方は「自宅」が71.4%で最も多く、以下「習い事」が44.9%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が25.6%と続いています。

希望する過ごし方は現在と大きな傾向の違いはありません。



（6）個別事業の認知度・利用度・利用希望について

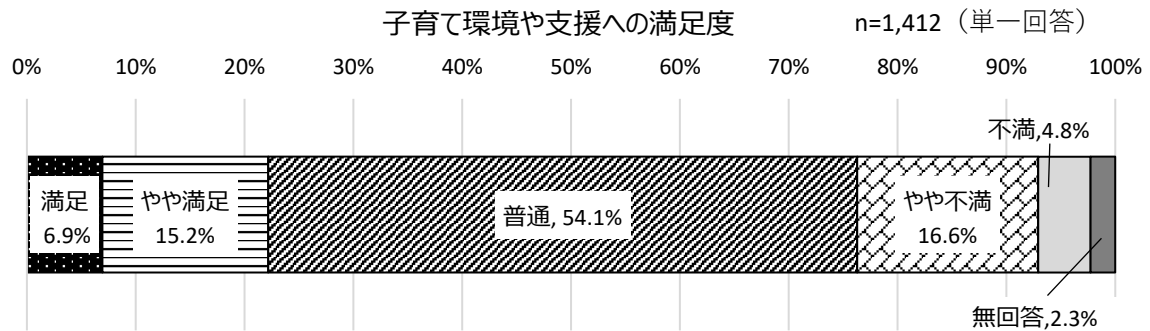


「母親学級、パパママ教室」と「育児学級（離乳食教室・事故防止）」は認知度が高く、それに伴って利用度も高くなっています。

一方、「わくわくママクラス（子育てセミナー）」と「教育相談」については認知度と利用希望はあるものの、利用度は高くありません。



（７）子育て環境・支援の満足度について



市の子育て環境・支援施策の満足度については、「普通」が54.1%で最も多く、以下「やや不満」の16.6%、「やや満足」の15.2%と続いています。

「満足」と「やや満足」を合わせた満足傾向は22.1%となっています。一方「不満」と「やや不満」を合わせた不満傾向も21.4%であり、ほぼ同割合となっています。

（８）住民アンケート自由回答から見える本市への意見・要望（自由回答）

未就学児

経済的支援	任意予防接種への補助がほしい。 医療費無償化を高校までしてほしい。 ファミサポは料金が高い。
子育て環境	地域との交流の場を持つようなイベントをしてほしい。 子どもの遊べる場所を増やしてほしい。 大きな室内施設がほしい。
保育所（園）	市立保育園がどこも老朽化しているので建て替えてほしい。 病気時に預ける場所がほしい。 一時保育の内容が分かりにくい。
子育て支援施設	広く充実した子育て支援センターがほしい。 休日に遊ぶ施設を作してほしい。

小学生

子どもの預かり	児童館の閉館時にも預かってくれる身近な場所がほしい。 土日祝日に預かってほしい。 学童保育の開館時間を早め、閉館時間を延長してほしい。
経済的支援	ファミサポの料金を安くしてほしい。 高校卒業まで医療費を無料としてほしい。
学習支援	放課後に学習支援をしてほしい。 学校以外で勉強を教えてくれるボランティアの方がいるとよい。
情報発信	ゲームやスマホの怖さを教えてほしい。